

# 事業完了報告書（実行団体）

事業名:	室蘭初。子どもと大人の居場所！常設型
資金分配団体名:	認定NPO法人北海道NPOファンド
実行団体名:	特定非営利活動くるくるネット
実施時期:	2021年1月～2021年12月
事業対象地域:	北海道
事業対象者:	子ども（小学生～高校生）その保護者(主にひとり親家庭)。 大人（主に40歳まで求職中の大人）

Version 3.2

日付: 2022年1月31日

## I. 事業概要

事業実施概要	<p>1. 室蘭市に談話室・相談室を備えた常設型居場所を初めて設置。開所日は月15日（平日週3・4回程度。土曜日2回程度）。開所時間は午後2～7時の5時間。スタッフは学習サポーター2名・相談員1名・管理者1名。対象は子ども（小学生～高校生）その保護者(主にひとり親家庭)。大人（主に40歳まで求職中の大人）。定員20名。居場所は自由に過ごせる。メニューは子どもには学習支援・ICT支援。保護者には子育て相談。大人には就職支援・ICT支援。コロナ禍を踏まえオンライン(zoom)の活用も積極的に図る。2. 活動の小冊子の配布。500部作製。</p> <p>3. 保護者・大人向けにICTを使用した相談窓口（LINE）を設置</p>
--------	--

## II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題の設定は妥当であったか？ 室蘭市にて社会的な孤立の解消、生活支援、学習支援のサポートを行う、常設型居場所を最初に作りました。室蘭市は工業都市であり、最盛期は18万人の人口を擁していましたが、鉄鋼不況や分社化、近隣都市への持ち家対策、車社会等により、現在は8万人。学校は統廃合が進んで。工業都市特有の三交代勤務、都会との賃金格差等により共働き家庭が多い。地方都市なので、コロナ禍による働く場所の減少等により生活困窮世帯も増加して孤立が進んでいて、課題の設定は妥当であった。</li> <li>●想定した対象者にリーチできたか？ 当初は利用者ゼロが続きましたが、チラシ配布や新聞報道等により利用者を獲得し、平日・休日のべ113回開催し、のべ264人の利用者がいた。</li> <li>●事業の設計 居場所の準備からはじまり、居場所の開設、運営を行った。小冊子の配布、LINE相談も行った。</li> <li>●プロセスの変化（工夫したこと） 活動の幅を広げるために、子ども向けにお泊り会を実施。9月より、子ども食堂を実施した。</li> </ul>
-------------------	--

## III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
子ども・学生	居場所の不足	常設型の居場所の開設	稼働日 15日/月 利用者数 15人/日	稼働日 15日/月 利用数 12人/日	稼働日 15日/月 利用数 3人/日	対象となる学区の人数規模から、居場所運営を行う上で最適な人数規模が高すぎた。またコロナ禍で人数制限をし、定員10名にて活動を行った。平日の利用は、保護者の送迎等があり、難しく、土曜日に利用拡大を図った
求職者	引きこもり	常設型の居場所の開設	稼働日 15日/月 利用者数 15人/日	稼働日 15日/月 利用数 12人/日	2回の座談会の開催 参加者延べ6名	居場所の利用は子どもがメインとなり、大人が利用することは難しかった。そのため企画として座談会を2回開催した
コロナで影響を受ける従事者	就業困難	LINE相談	相談件数 10件/月	相談件数 7件/月	相談件数 3件/月	しばらく働いてないので不安であることや労働内容がわるくなったことなど様々な相談があった
子ども・学生	学習機会の不足/格差	土曜勉強会の開催	稼働日 2日/月	稼働日 2日/月	稼働日 4日/月	土曜日に利用拡大として毎週開催した。レギュラーで利用者もいた。9月からは子ども食堂も開催し、利用者拡大を図った。
ひとり親	相談先の不足	LINE相談	相談件数 10件/月	相談件数 7件/月	相談件数 3件/月	保護者からは労働相談や子どもが学校でいじめられていることなどの相談があった
その他	その他	小冊子 500部	500部	500部	500部	小冊子は予定通り作り、学校・公共施設・希望者等に配布した

## IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）\*

事業実施以降に目標とする状況	居場所づくり・保護者へICTを使った相談窓口をつくることにより、子どもが安心して遊び・学べる場がある。ひとり親家庭の保護者等が相談できる・大人が社会的なつながりを持てる場所ができる。様々な子ども・保護者・大人の不安やストレスなどが解消され、生活環境向上につながる。室蘭地域において、主にひとり親世帯約20世帯に居場所が継続的に確保されている。
考察等	【アプローチ方法や進捗など】 居場所は設置を行い、近隣の小中学校には毎月広報を行っている。またSNSをICTを使った相談窓口は設置し、毎月広報むろらんを通じて

V. 活動

活動	進捗	概要
常設型の居場所の開設準備	計画通り	物件契約 人材雇用契約 備品購入 wifi契約 ホームページ開設 チラシ作成 広報 学校への訪問など準備全般を行った
常設型の居場所の開設	計画通り	月15日 開所。平日主に火・金。(14:00~19:00) 土曜。(10:00~14:00) 利用者のニーズにあわせて、火・金・土以外も開設しました。
相談窓口ICT (LINE) 設置・開設	計画通り	常設のLINE相談窓口を開設しました。LINE相談は月平均2~3件あり、1件につき10回~40回程度LINE交換をしています。
オンライン会議 (zoom) の開催	遅延あり	緊急宣言期間中に、来所予定の中学生対象に実施。普段の活動は対面で行った。
小冊子 A4 20P 500部作製 配布	計画通り	A4、16Pにまとめて、市内学校・公共施設や待合室のある病院等に配布しました。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	<p>【想定外のアウトカム】          中高一貫校受験を希望する親御さんより受験指導を依頼され、スタッフとともに受験指導を行い、子どもは中高一貫校に合格できた</p> <p>【活動】          受験指導としては、集団討論の練習・面接指導・作文指導を行った。</p> <p>【波及効果など】          スタッフのモチベーションが高まり、作文指導等熱心に行った。</p>
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>【課題を取り巻く環境】          居場所を定期的に利用する子どもが現れた。また親御さんとの信頼関係を築いた。</p> <p>【対象者の変化】          定期的に利用する子どもにとって、楽しい場・安らぎの場になっている。</p> <p>【次の活動】          楽しく、安らぎがあり、安心・安全な居場所を作りたい</p>
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
室蘭NPO支援センター	実施内容の相談、広報支援、1か月に1回の振り返り
北海道NPOサポートセンター	実施内容の相談、広報支援、1か月に1回の振り返り
STOチーム (Social Technology Officer)	実施内容の相談、2週間に1回の振り返り
バンガシラ代表 低引稔 (そこびき) 氏	実施内容の相談、2週間に1回の振り返り

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	5,345,692	5,398,002	101.0%
	管理的経費	153,960	111,548	72.5%
合計		5,499,652	5,509,550	100.2%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	●室蘭民報 (1/30、2/21、3/12、4/7、5/14、7/21、7/23、8/10、9/12、9/17、9/19、11/18、11/27、12/16、R4.1/11、1/14、1/20、1/27) 掲載 ●北海道新聞(2/5) 掲載 ●広報むろらん：毎月掲載
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法 (事例)	ポスターにシンボルマークを掲示しました
4.報告書等	小冊子 16p 500部

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更があり報告済	

②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3. 関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4. コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	はい	
5. ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6. 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7. 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	